

「ドライバーズセダン」としての爽快な走りを、快適に

クルマとひとつになったかのような心地よい走りを、どこまでも快適に楽しみたい――。

セダンの「走り」に対して高い理想をお持ちの方に、心から満足していただくことを目指し、走行性能を磨き上げました。

低燃費とダイレクト感のある加速を両立させたHonda独自のハイブリッドシステム、SPORT HYBRID i-DCDの採用、シャシー、ボディの入念なチューニング等により、いつまでも走っていただきたいような爽快な走りを追求しました。

ハイブリッドセダンNo.1^{*1}の燃費性能と両立させた、力強い走り



普段はなめらかで低燃費。それでいて、ひとたびアクセルを踏み込めば、スポーティーなクルマを乗り継いできた方にも満足いただけるような、力強い走りを目指しました。

1.5Lエンジンと、高出力モーターを内蔵した7速デュアルクラッチトランスミッション、高性能リチウムイオンバッテリーを組み合わせた「SPORT HYBRID i-DCD」は、34.4km/L^{*2}の低燃費と、力強く、リズミカルで伸びの良い加速感を両立。ハイブリッドセダン クラス初^{*3}の「ハイブリッド×4WD」もラインアップしました。

パワートレイン トピックス

- ハイブリッドセダンNo.1^{*1}の低燃費34.4km/L^{*2}
- ゆとりある走りをもたらす
101kW(137PS)のシステム最高出力
- デュアルクラッチトランスミッションによる
俊敏なレスポンスとダイレクト感ある加速
- ハイブリッドセダン クラス初^{*3}の「ハイブリッド×4WD」

快適なドライブに貢献する乗り心地の良さと静粛性



セダンの走行性能において、最も重要なのは「快適であること」。どこまでも走って行きたいような、「快適に走りを楽しめる」性能を追求しました。

足回りの設計等により、路面から伝わる不快な振動などを抑制するとともに、ステアリング操作に対して忠実に反応する、気持ちのよいハンドリングを目指しました。セダンボディは静粛性の確保に有利なことに加え、各部に効果的に遮音・吸音材を配置することにより、会話の弾む、静かな室内空間も実現しました。

ボディ、シャシー トピックス

- セダンボディの利点を活かし切る
高剛性ボディと先進のシャシーによる上質な乗り心地
- ボディ設計段階からノイズの侵入を抑え、さらに、
効果的に遮音・吸音材を配置したことで実現した、
高い静粛性

^{*1} 2014年10月現在。プラグインハイブリッド車を除く。Honda調べ。

^{*2} HYBRID DX(FF)、HYBRID LX(FF) JC08モード燃料消費率(国土交通省審査値)

^{*3} 2014年10月現在。5ナンバーハイブリッドセダンとして。Honda調べ。